

読売新聞 きょう（7月26日）のイチ押し

1面 夫も産休 創設へ（本紙の特ダネです）

男性の育児参加を促すため、政府は妻の出産直後の夫を対象にした新しい休業制度を創設する方針を固めました。現在は母親だけが対象の産休制度の父親版です。育児休業よりも休業中の給付金を手厚くして家計の収入減を抑えることも検討しています。

- ★ 出産直後で身体的・精神的な負担が大きい妻を、夫がサポートする機会にもなり、母親の産後うつを防ぐ効果なども期待されています。
- ★ 9月にも厚生労働大臣の諮問機関である労働政策審議会に諮り、休業期間の設定など具体的な制度作りに着手します。来年1月からの通常国会に育児・介護休業法などの改正案を提出する方針です。

社会面 やりとり削除 女性に指示 ALS 囑託殺人

難病の筋萎縮性側索硬化症（ALS）の女性患者（当時51歳）から依頼を受けて、この女性を殺害したとして、医師2人が23日に逮捕された囑託殺人事件の続報です。逮捕された医師の1人が、事件に関するメールなどのやりとりをパソコンから削除するよう女性に指示していたことが分かりました。事件への関与の発覚を免れようとしたとみられています。

- ★ 逮捕した京都府警が女性のパソコンを解析したところ、事件の1週間前頃から、メールなどで当日の段取りなどを詳細に打ち合わせていたことがわかったようです。
- ★ 逮捕された2人が事件当日、女性宅を訪ねた際も、女性の介護を担当していたヘルパーに偽名を伝えて女性と面会していました。

他紙と比べて

人工知能（AI）やロボット技術など急速に進化するデジタル技術が描く新たな未来像に迫る「Digital 創世」シリーズが、1月から月1回程度掲載されています。この日の紙面では、アンドロイド指揮者やAI画伯などアートの分野に踏み出したAI技術を2ページの特集で取り上げています。